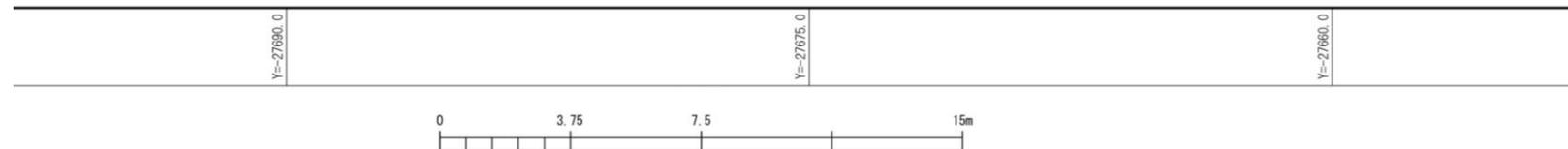
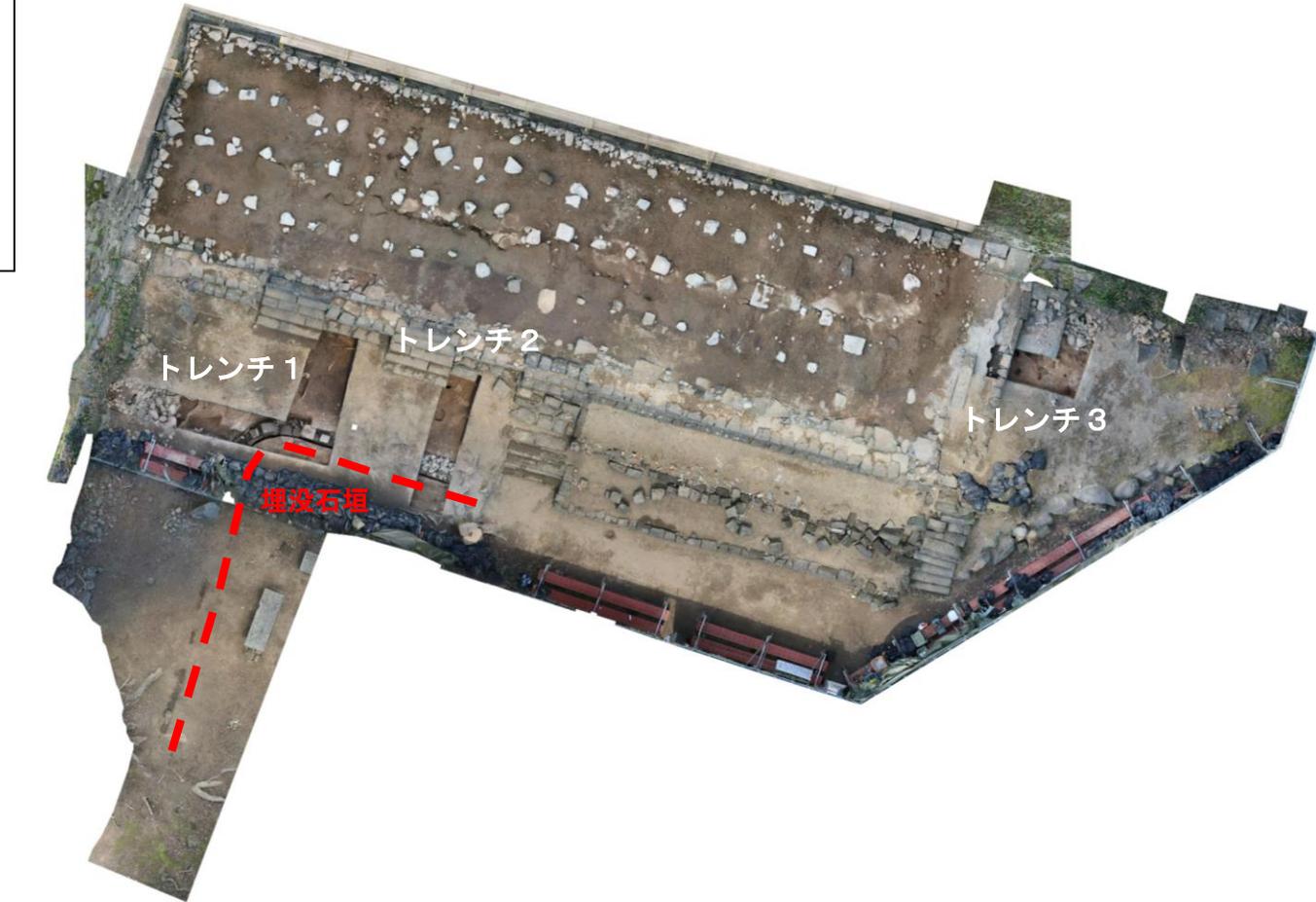


調査手順・目的

- ①：トレンチ1～3までの発掘調査を実施。
 - ②：遺構の残存状況なども含めて検討し、追加トレンチが必要な場合にトレンチ4・5を設置して発掘調査を実施。
- ☞ 結果的にトレンチ1～3のみで調査終了。
- ・ 監物櫓内側石垣の築造時期を把握するための事前確認調査
 - ・ 監物櫓台石垣及び櫓の復旧方法を検討する材料とする。





※築石背面裏込め内にモルタル付き煉瓦あり



※被災して築石背面裏込め露出。モルタル付き煉瓦含む



※埋没石垣検出。築石は凝灰岩。



※埋没石垣検出。築石は凝灰岩。



トレンチ2西壁土層（南側） ※写真奥はトレンチ1

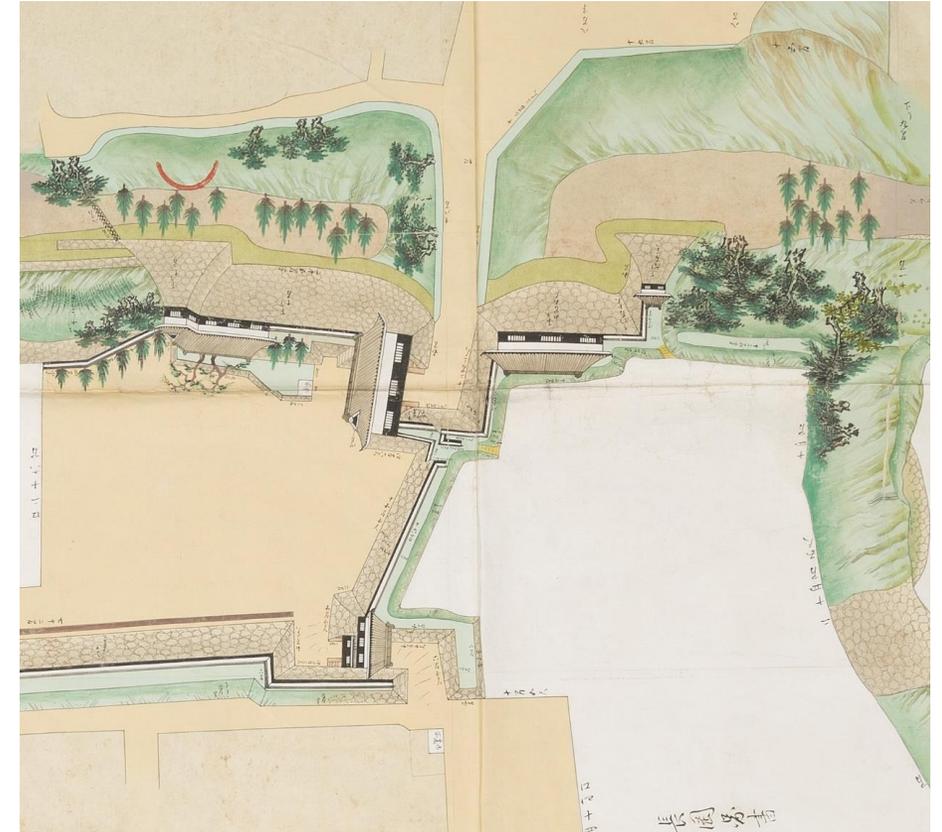


トレンチ2西壁土層（北側）

【現存櫓関連履歴】

元禄期（1688～1704）を遡る頃 創建か（元禄三・五年銘平瓦）
 天保5年（1834）解体修理・柱の取替（天保五年三月柱墨書？）
 安政7・万延元年（1860）修理（棟札）
 明治17年（1884）屋根修理（明治十七年銘瓦） ※同年から帝国陸軍歩兵第23連隊用地
 ※明治30年（1897）9月1日熊本陸軍地方幼年学校開校
 昭和2年（1927）屋根葺替・室内軸組補強 ※同年3月31日熊本陸軍地方幼年学校閉校
 ※昭和24年7月熊本宮林局は幼年学校跡地を財務局から買収
 ※同年同月12日から監物台樹木園建設開始、昭和27年11月8日開園
 昭和28～30年（1953～1955）全解体修理
 昭和53年度（1978）屋根葺替・部分修理

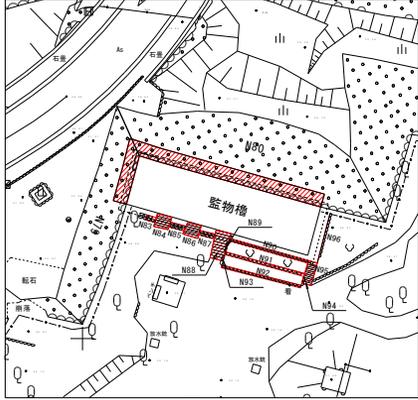
※熊本市1979『重要文化財熊本城監物櫓・長堀修理工事（屋根葺替部分修理）報告書』
 ※熊本市2003『新熊本市史 別編 第三巻 年表』
 ※熊本市2016『特別史跡熊本城跡総括報告書 整備事業編』
 ※熊本市2019『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編』



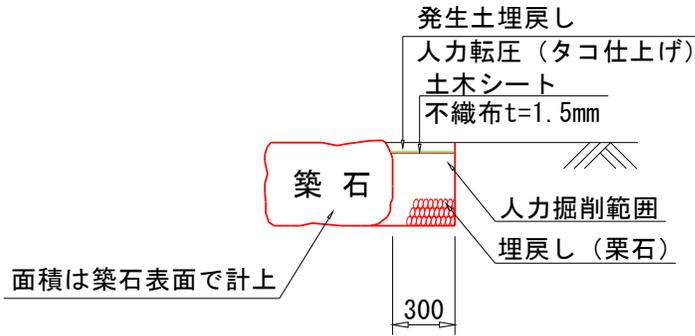
「棒庵坂ヨリ郡九郎太郎家舗迄」御土居絵図（部分）（禁転載）
 文政元～10年（1818～1827）
 熊本県立図書館蔵

☞ 監物櫓の曲輪側は石垣ではなく、土居表記となっている。

位置図

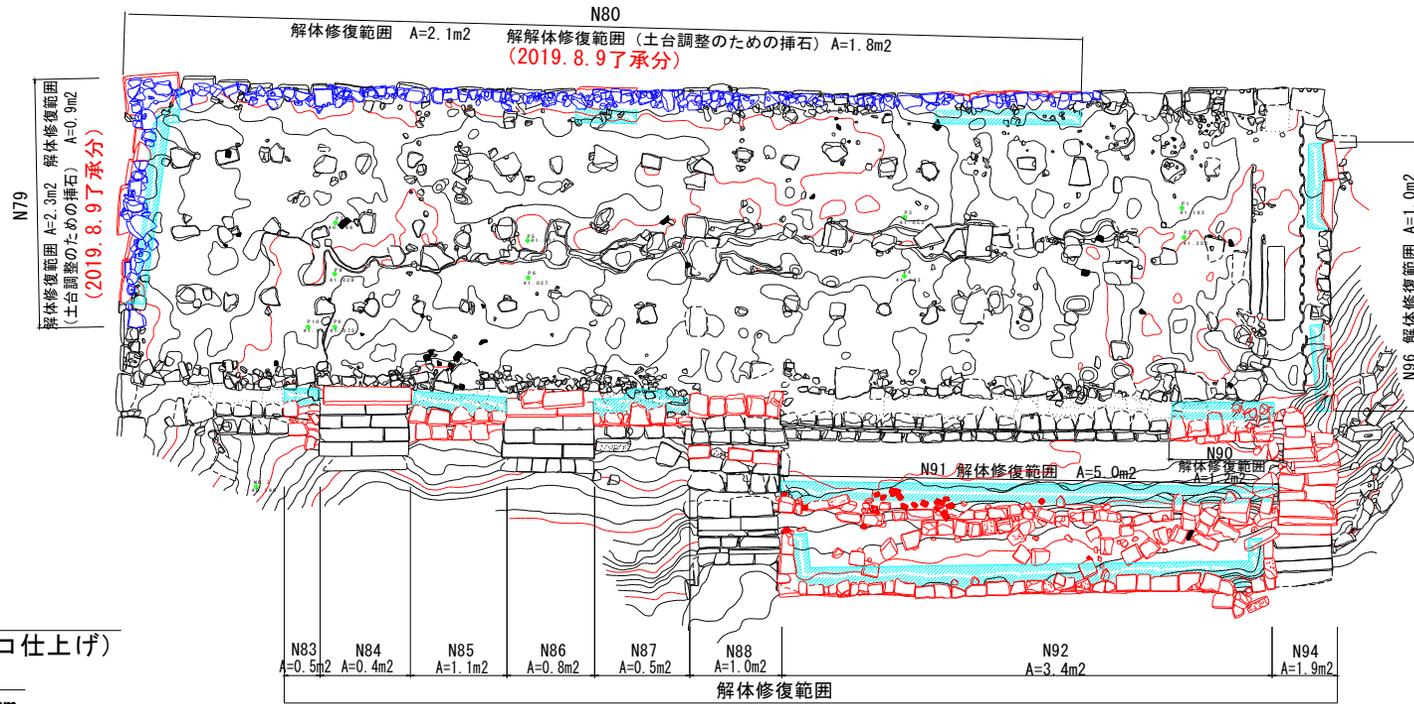


築石背面・石垣天端処理工概念図

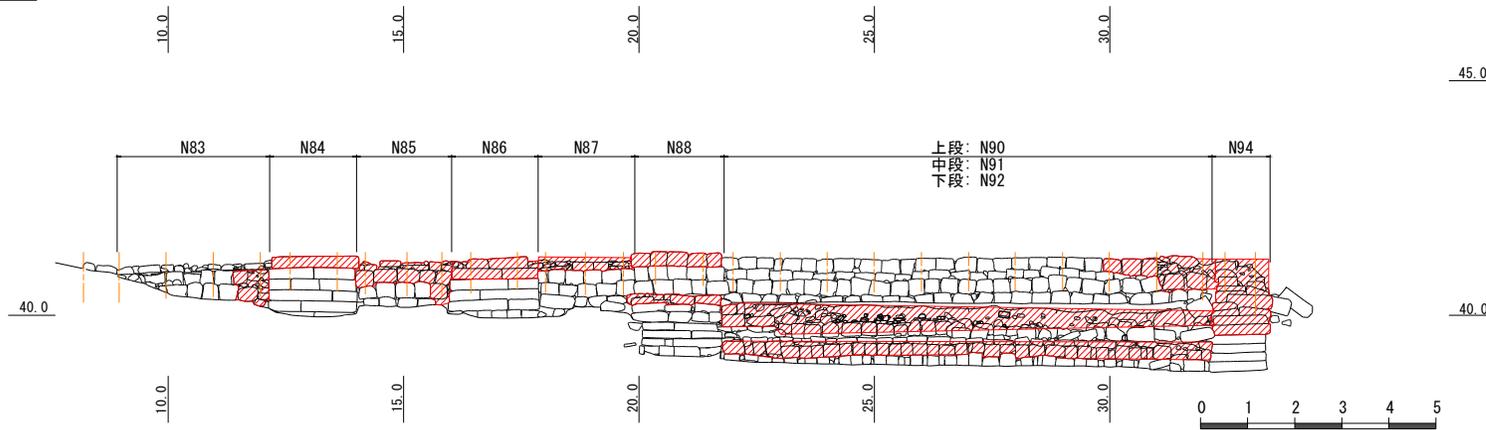


解体修復面積集計

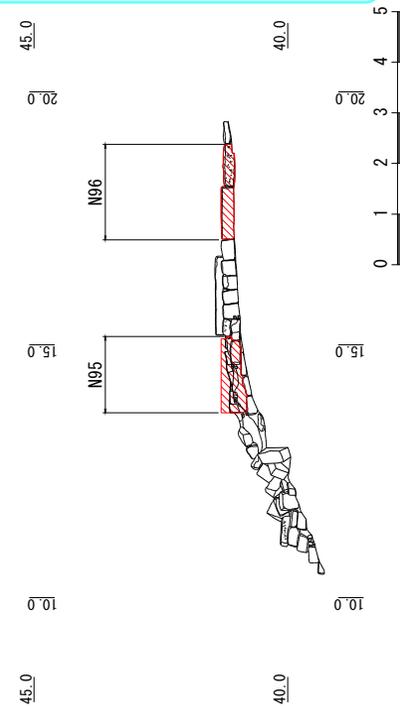
| 名称 | 面積 |
|--------|------|
| N83 | 0.5 |
| N84 | 0.4 |
| N85 | 1.1 |
| N86 | 0.8 |
| N87 | 0.5 |
| N88 | 1.0 |
| N90 上段 | 1.2 |
| N91 中段 | 5.0 |
| N92 下段 | 3.4 |
| N94 | 1.9 |
| 計 | 15.8 |



監物櫓石垣 (N83~N94) 解体範囲図



監物櫓石垣 (N95~N96) 解体範囲図



解体修復面積集計

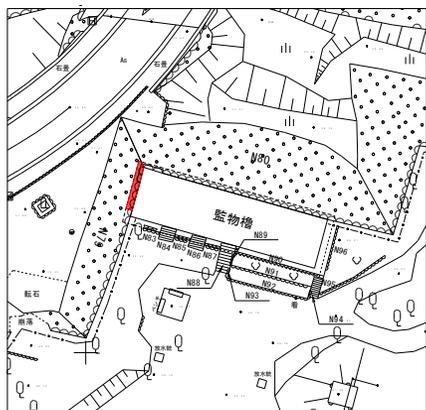
| 名称 | 面積 |
|-----|-----|
| N95 | 0.6 |
| N96 | 0.4 |
| 計 | 1.0 |

凡例

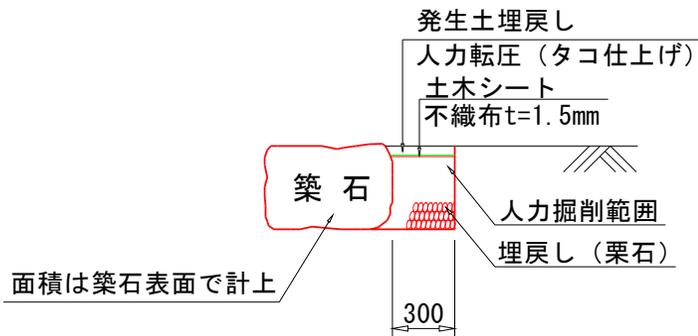
- 築石・石段解体修復対象
- 上記に伴う背面解体範囲
- 挿石解体範囲

- ①復旧勾配 → 隣接石材の擦り付け
- ②築石石材の取扱い → 変更なし
- ③築石背面 → 栗石手詰め
- ④天端処理 → 栗石層直上に土木シート、その上に掘削土戻し（人力転圧）

位置図

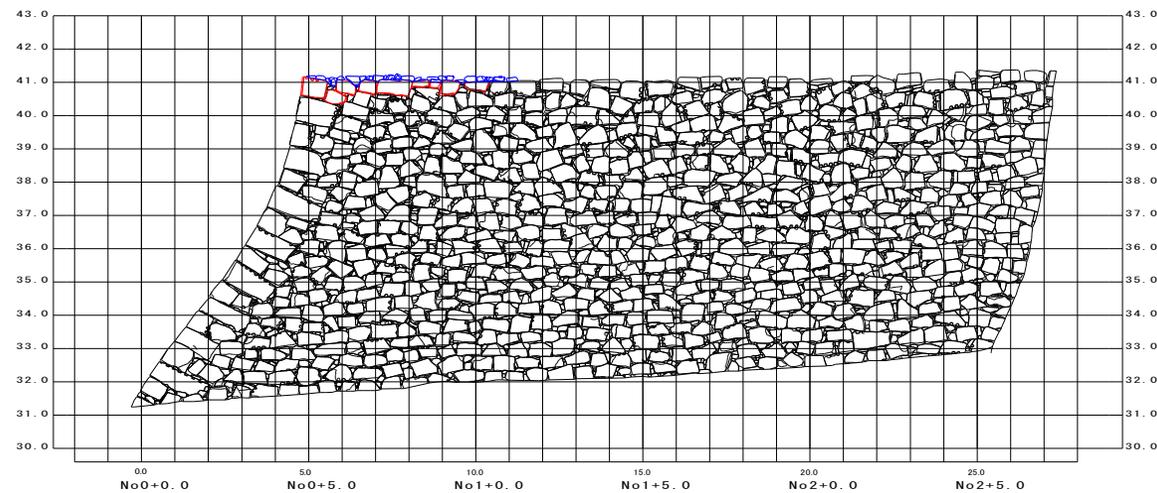


築石背面・石垣天端処理工概念図



横断図

立面図

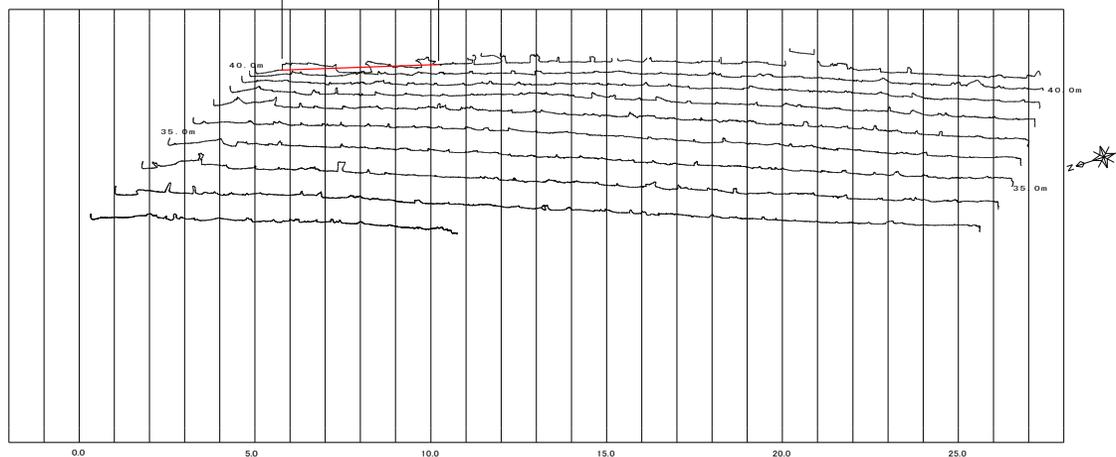


縦断図

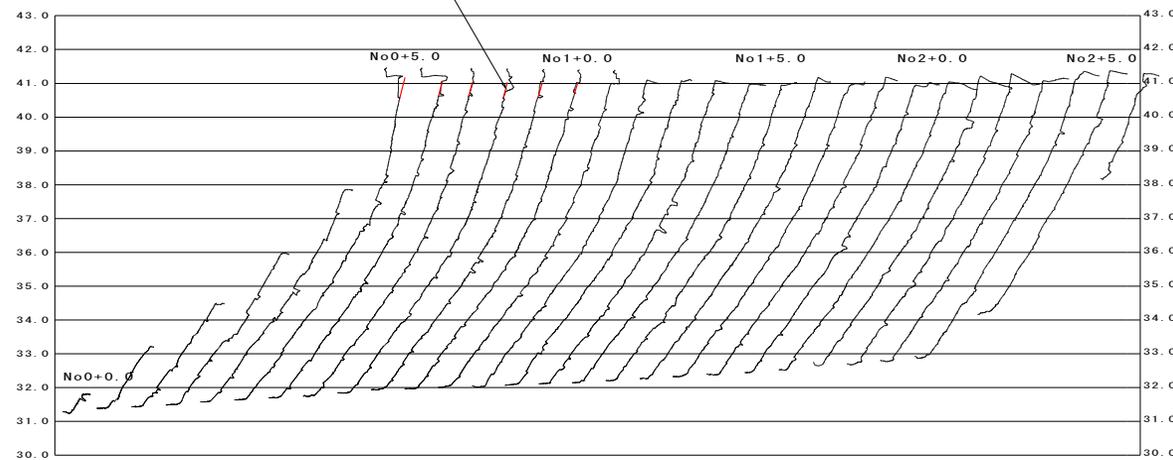
凡例

| | |
|--|----------|
| | 築石解体修復対象 |
| | 挿石解体範囲 |

修復ライン

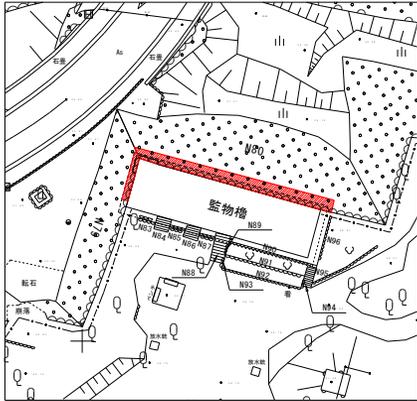


修復ライン

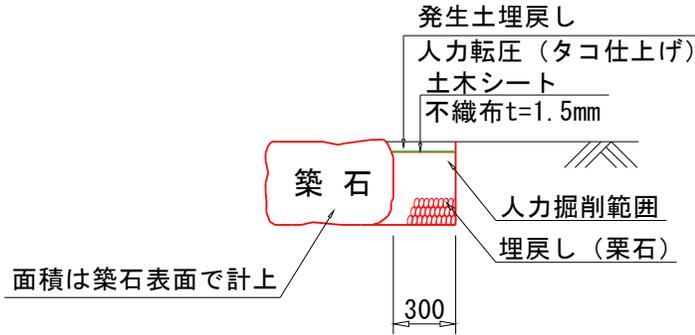


- ①復旧勾配 → 隣接石材の擦り付け
- ②築石石材の取扱い → 変更なし
- ③築石背面 → 栗石手詰め
- ④天端処理 → 栗石層直上に土木シート、その上に掘削土戻し（人力転圧）

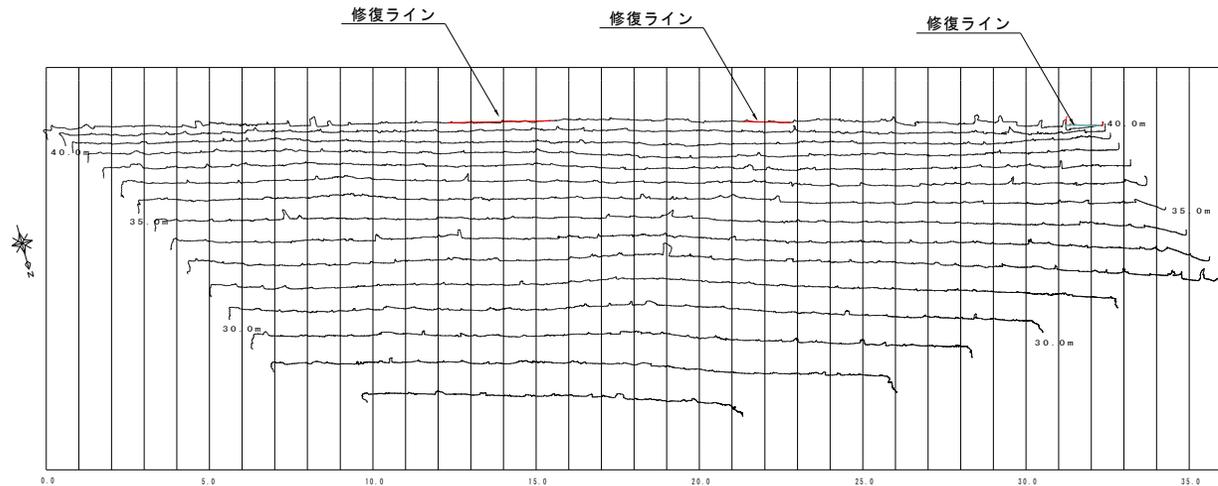
位置図



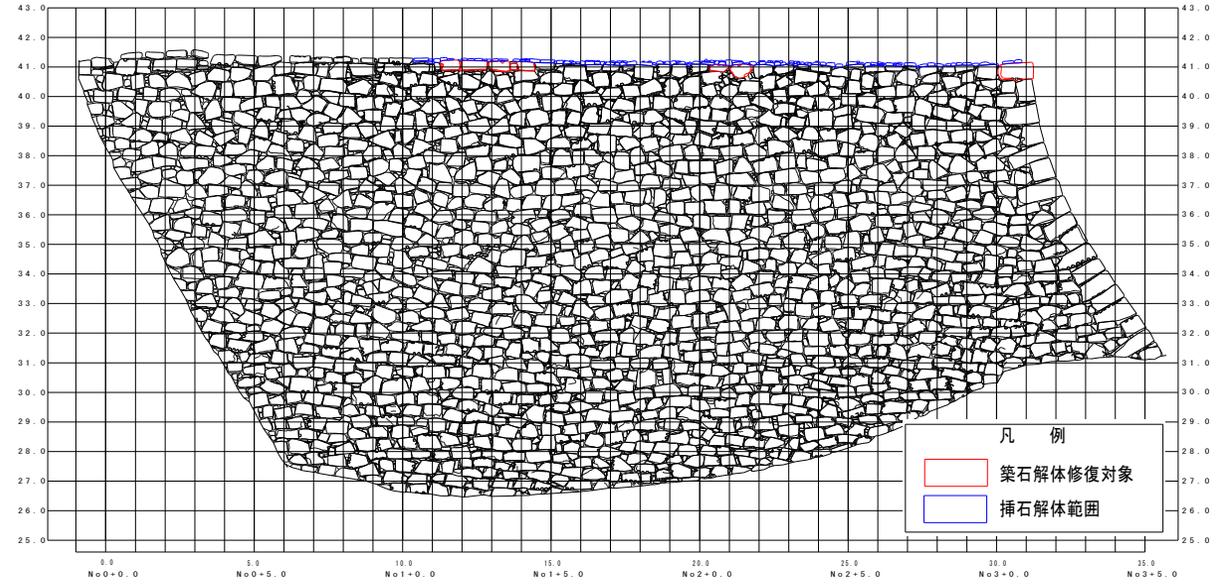
築石背面・石垣天端処理工概念図



横断図



立面図



縦断図

